

えなえあればうれいなし

久保小 五年一組 竹島 大稀

ぼくは、学校や家で、

自分の身は自分で守れ

と、いつも言われています。あまり深く考えて

いませんでした。が、テレビで色々な自然災害

を見て、とうやうや、自分の身を守った方がいい

か考えました。

台風や大雨災害はよく聞く災害です。理科

で積乱雲について習いました。積乱雲の発生

した地いきには近づかない、もし自分の住ん

でいる所が集中ごう雨になら、たら外に出ない

ようにすると言う事をし、かり覚えておさま

す。ぼくの机にはハザードマップがの、てい

る、ひたしカードが置いてあります。それに

は、家族のれんらく先やいつにげるか、どこ

ににげるかなど、書きこむ所があります。今

この紙は真、白です。ぼくの災害に對する意

識は低い事が分かりました。この夏休みのあ

いだにひたしカードを完成させようと思いま

す。

土砂災害について、ぼくの地いきは近所の
人と話し合、て山にじょうふなかへを作りま
した。最初は作るのに反対する人もいたそ
です。それでも何度も話し合いをして、じ
うぶなかへが出来てみんな
「安べしたね、よか、たね」
と言、ています。日ごろからみんなの意見を
聞いて話し合える関係を作る事は大切だと、
お父さんが言、ていました。

災害はいつか、てくるか、たれにも分かり
ません。でもか、て来ない訳ではありません。
何も無い内に出来る事を準備する事が一番の
災害対策になります。ぼくが出来る災害対策
は、まずみんなカードを完成させる事。次
にもしもにげる時に部屋がきたなか、たら、
安全にみんな出来かいので、部屋をかたづけ
る事。そして家族で災害について時々話
にする事です。またまたやるべき事はたく
くあるけれど、一度には出来ないのではあ
すれ

たいようにマツコリ準びをすすめたいと思
います。

災害は**恐い**ものですか、し、かりなえを
して正しい知識を身に付けて自分の身を守り、
周りの人も守れるように

「そなえあればうれいなし」
をいつも心に置いて、毎日を過ごしたいと思
います。